

■特長

この時計は、ログデータ(ダイビングの記録)を計測と同時に自動的にメモリーで蓄積する機能や、スタートさせると、10分経過毎に音で知らせる機能(オートシグナル)、水中での仲間同士の合図に使用できるアラーム機能(コミュニケーションアラーム)を合わせ持っている。

- 時刻・カレンダー機能
・スクューバクロノグラフ機能
・10時間計(1秒単位)
・スタートさせると10分経過毎に音で知らせます。(オートシグナル)
・計測した時の「月日」「潜水開始時刻」「潜水時間」「潜水回数」を自動的にメモリー(記憶)します。

■ボタンの名称

ボタンの名称と合わせかた
時刻・カレンダーモード
モードマーク
他のモードマークが高滅している場合は、そのモードが計測中であることを示しています。

■バッテリーインジケータ

ダイビングの途中、電池切れで時計が止まったら大変です。そんな不安を解消してくれるのが、「バッテリーインジケータ」です。常に電池の残量を表示し、いつ電池を交換したら良いか一目で判ります。

■時刻・カレンダーの合わせかた

ボタンの名称とはたらき
時刻・カレンダー合わせ
呼び出し/解除
時刻・カレンダーモードマーク
アラームマーク

■スクューバクロノグラフの使いかた

- 1秒単位、10時間計
・最大計測時間 9時間59分59秒
・1日9回までログデータをメモリー(記録)できます。
・スタート後、10分毎に音で知らせます。(オートシグナル機能)
・ログデータの最大メモリーは20回までです。

ボタンの名称とはたらき
例)スタート前の状態
グラフィック表示(1分毎に表示が1マスずつ減算)
ログデータとは
ダイビング(潜水)の記録のことです。

ボタンの名称とはたらき
時刻・カレンダーモード
モードマーク
他のモードマークが高滅している場合は、そのモードが計測中であることを示しています。

■リコール(呼び出し)の使いかた

- メモリーはスクューバクロノグラフ専用です。
・最新の20回のログデータを記憶しています。
・ダイビングのトータル回数を550回までグラフィックで表示します。

ボタンの名称とはたらき
ログデータ
グラフィック(ダイビングのトータル回数)
ダイビング回数
リコールモードマーク
ダイビング時間(20分15秒)

■クロノグラフの使いかた

- 1/100秒単位、10時間計
・最大計測時間: 9時間59分59秒99(以降は繰り返し計測)
・メモリー機能はありません。

ボタンの名称とはたらき
例)スタート前の状態
グラフィック表示(1/100秒毎に表示が1マスずつ加減算)
スプリット・リセット
スタート・ストップ

ボタンの名称とはたらき
時刻・カレンダーモード
モードマーク
他のモードマークが高滅している場合は、そのモードが計測中であることを示しています。

■エレクトロルミネッセンスパネル(内部照明)の交換について

内部照明用として使用されているエレクトロルミネッセンス(EL)パネルは、電池の電圧が低くなると、輝度(明るさ)が低下します。また、ELパネルは発光時間の経過と共に、徐々に輝度が減衰する特性を持っています。

ログデータの消しかた
過去のデータが不要になった場合は、次の方法で消すことができます。
記録されているデータはすべて消去されるので、ご注意ください。

■アラームの使いかた

- 3チャンネル(ch)のデイレアラームです。
チャンネル毎にON(セット)/OFF(解除)の切り替えができます。
ボタンの名称とはたらき

ボタンの名称とはたらき
アラーム時刻合わせ
呼び出し/解除
アラームモードマーク
アラームマーク

アラームを鳴らしたいとき、鳴らしたくないとき
アラームを鳴らしたくないとき
アラームを鳴らしたいとき

アラームの試し聴き(サウンドデモンストレーション)
アラームの試し聴き(サウンドデモンストレーション)とは、アラームが鳴り出す際の音を確認するための機能です。